

第2回 冷泉小学校跡地活用協議会 参考資料

令和7年11月26日
福岡市

【位置図】

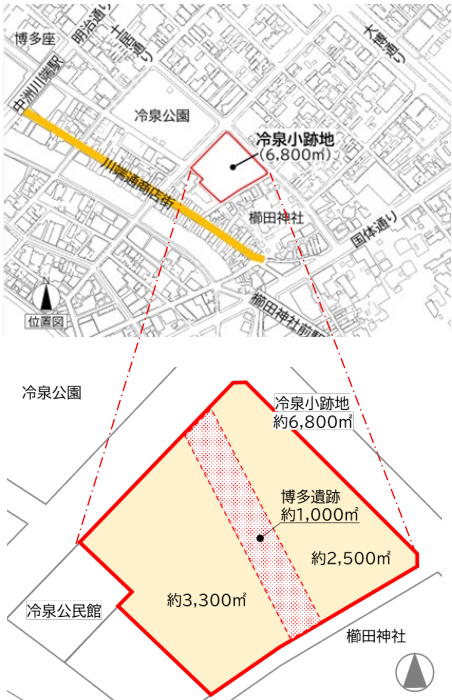


【 町家ふるさと館 】

1. 冷泉小学校跡地について

①冷泉小学校跡地の概要

所在地	福岡市博多区上川端町
面積	6,790㎡
都市計画決定等	商業地域 準防火地域 容積率 400% 建ぺい率 80% 歴史景観拠点ゾーン(都市マス)
所有者	福岡市(教育委員会)



②冷泉小学校跡地の主な経緯

- 平成10年4月 博多部4小学校(冷泉小、奈良屋小、御供所小、大浜小)の統合に伴い、冷泉小の校舎を博多小の仮校舎として使用
- 平成13年4月 博多小が現在地に移転開校(旧校舎や体育館等は地域利用で活用)
- 平成17年4月 冷泉小跡地の一部に知的障がい児通園施設開所
- 平成18年4月 冷泉小跡地の一部に冷泉公民館改築
- 平成28年6月 博多校区冷泉自治協議会より、「旧冷泉小学校の跡地活用に関する要望書」受領
- 平成28年11月 旧校舎等の解体に順次着手
- 平成30年5月 埋蔵文化財発掘調査に着手
- 平成31年3月 「第1回冷泉小学校跡地活用協議会」開催
- 令和元年10月 発掘調査において「石積み遺構」発見
- 令和5年10月 「石積み遺構」の国史跡指定に係る文化審議会答申
- 令和6年2年 「石積み遺構」の国史跡指定

【参考】

「旧冷泉小学校の跡地活用に関する要望書(平成28年6月7日)」

1. 体育館などによる避難所としての機能
これまでは小学校の体育館が収容避難所として指定されてきており、小学校の移転に伴い、災害時の避難場所がなくなっております。このため、新たな施設整備にあたっては、平常時は体育館等で使用でき、災害時には収容避難所として使用できるような機能がぜひ必要です。
2. 博多の歴史や伝統文化を展示・体験できる観光の拠点機能
旧冷泉小学校跡地は、博多総鎮守の櫛田神社に隣接しており、櫛田神社と合わせて博多観光の拠点となるものがが必要です。山笠等の祭事や博多織・博多人形等の伝統工芸の体験、博多券番による伎芸が見られるもの、また、博多で発掘された文化財を展示するなどにより、博多の歴史や伝統文化をより身近で感じられ、福岡の人が博多を誇れるようなもので、日本人観光客だけではなく外国人も楽しめる施設を要望します。
3. 特別養護老人ホーム
超高齢化社会を迎え、この地域でも今後ますます高齢者が増えていくことが想定されます。既存の特別養護老人ホームでは多くの待機者がいると聞いており、また、冷泉地区には特別養護老人ホームがありません。地区の高齢者が住みなれた地域で過ごすことができる特別養護老人ホームが必要です。
4. 保育所(保育園)
近隣に十分な保育所がなく、希望する保育所に通うことができなかったり、兄弟姉妹が別々の保育所に通うことが生じるなど、多くの若いお父さんお母さんが大きな負担を強いられています。博多部の次世代を担う子どもを育み、若い世代が安心して住めるように、希望する子どもが安心して保育が受けられる施設が必要です。
5. 図書館
かつて築港本町にあった福岡市民図書館が百道浜に移転し、この地域では図書館の利用が不便になっており、地域コミュニティの場として、地域図書館の整備を希望します。
6. 旧冷泉小学校跡地活用に合わせた、冷泉公園の再整備
博多の文化や歴史を目的とした観光に伴う来訪者が利用する大型バスの駐車場・乗降場は、周辺景観への配慮や天候を問わず利用しやすいよう、冷泉公園の地下に整備することを希望します。また、どんたくや山笠などの祭りや地域イベントにおいて、公園全体が一体的に広く利用できるような再整備をお願いします。

(1)福岡市基本構想(平成24年12月改定)

【都市像】

住みたい、行きたい、働きたい、アジアの交流拠点都市・福岡

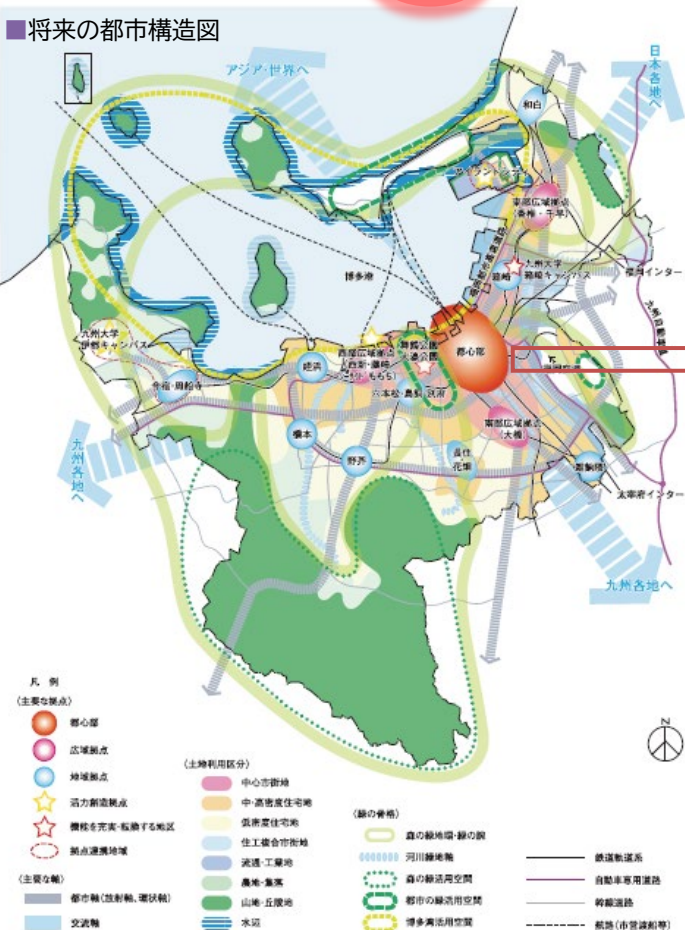
- 1 自律した市民が支え合い心豊かに生きる都市
- 2 自然と共生する持続可能で生活の質の高い都市
- 3 海に育まれた歴史と文化の魅力が人をひきつける都市
- 4 活力と存在感到満ちたアジアの拠点都市

(3)都市計画マスタープラン(平成26年5月改定)

跡地エリア及び地域の位置づけ

都心部

■将来の都市構造図



(2)第10次福岡市基本計画(令和6年12月改定)

【都市経営の基本戦略】

- (1)生活の質の向上と都市の成長の持続的な好循環を創り出す
- (2)多様な人材が育ち、集い、チャレンジできる環境をつくる
- (3)福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

持續的好循環

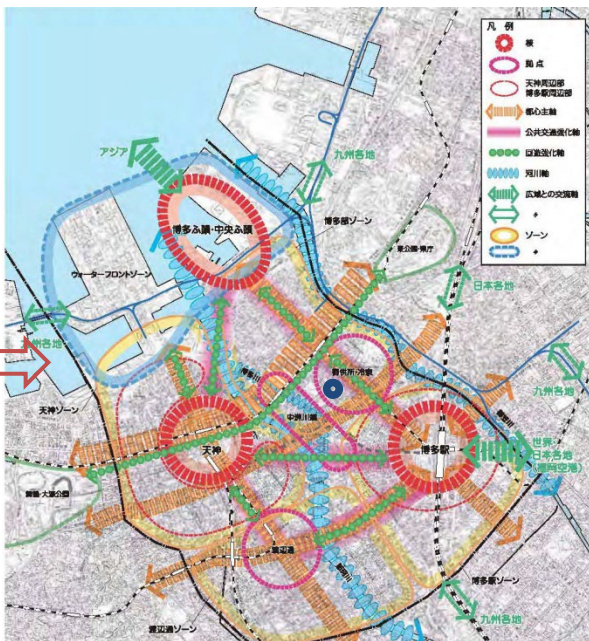
【分野別目標】（生活の質の向上）

- 目標 1 : 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている
目標 2 : すべての子ども、若者が夢を描きながら健やかに成長している
目標 3 : 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている
目標 4 : 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる

【分野別目標】（都市の成長）

- 目標5：磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている
目標6：都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている
目標7：チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している
目標8：アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある






■都心部のまちづくりの方向性



- ①アジアの活力を福岡に取り込み、九州、西日本の各都市へ波及させます
- ②美しくにぎわいがあり利便性が高い国際集客文化都市をめざします
- ③都心部の各地区が連携し相乗効果を生みだすまちづくりを進めます
- ④すべての人に優しいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます
- ⑤エリアマネジメント団体や民間事業者などとの共働のまちづくりを進めます
- ⑥環境負荷が少なく地球環境に配慮したまちづくりを進めます
- ⑦大規模災害の発生に備え、災害に強いまちづくりを進めます

■冷泉小学校跡地周辺の位置づけ（博多区の将来像）



拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
<p>都心拠点</p> 	<p>【中洲川端】</p> <p>福岡市の代表的なアミューズメント施設と商業ゾーンとして、博多の文化機能と商業機能の集積を生かしたにぎわいのあるまち</p> <p>【御供所・冷泉】</p> <p>寺社などの歴史的資産や伝統的な祭りや文化を活かした歴史・文化を感じるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○商業・業務機能の充実と魅力ある商業空間の形成 ○魅力ある歩行空間の確保 ○周辺地区との連携強化
<p>都市軸</p> 	<p>福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に、商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路などの整備状況に応じた土地利用の誘導 ○沿道の有効利用 ○連続性のある良好な街並みの形成
<p>沿道軸</p> 	<p>幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの形成
<p>複合市街地ゾーン</p> 	<p>住宅を中心に都市機能を支援する業務機能・商業施設が共存する複合市街地</p>	
<p>歴史景観拠点ゾーン</p> 	<p>寺社周辺の歴史的景観に配慮した歴史・文化にみちみちる樹田神社・聖福寺・古住神社および周辺地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の保全 ○緑豊かで魅力的な景観の形成 ○快適な歩行者動線の確保 ○歴史的景観を保全・創造するための歴史的街並みづくり

3. 跡地の周辺状況

(1) 跡地周辺の主要プロジェクト

【博多旧市街プロジェクト】
 (博多旧市街プロジェクトとは)
 博多は、平安時代末期に、貿易拠点として宗の商人が居住し、日本初のチャイナタウンが形成され、また元寇を経て、室町時代には日本と中国や朝鮮、琉球との交易を担う商人が活躍した日本中世最大の貿易港湾都市・博多の中心地域です。
 世界には長く受け継がれてきた歴史・伝統・文化と現代社会が上手く調和している地が「old town(旧市街)」と呼ばれ、観光名所になっているところが多くあり、このエリアも中世に由来する寺社や博多織、博多人形等の伝統工芸品、博多祇園山笠や博多松囃子などの伝統的な祭り行事などの地域資源が多く、都会的なオフィスビルや商業施設など、現代社会と上手く調和しています。
 福岡市においても、これらの地域の宝とも言える貴重な資源を活用し、インバウンドを含む観光客にも、その地のイメージをわかりやすく伝え、インバウンドの効果をしっかりと地域へ取り込むことが必要です。
 歴史・伝統文化を際立たせ、福岡市の魅力を高める「博多旧市街プロジェクト」を官民の連携により街全体で推進していきます。



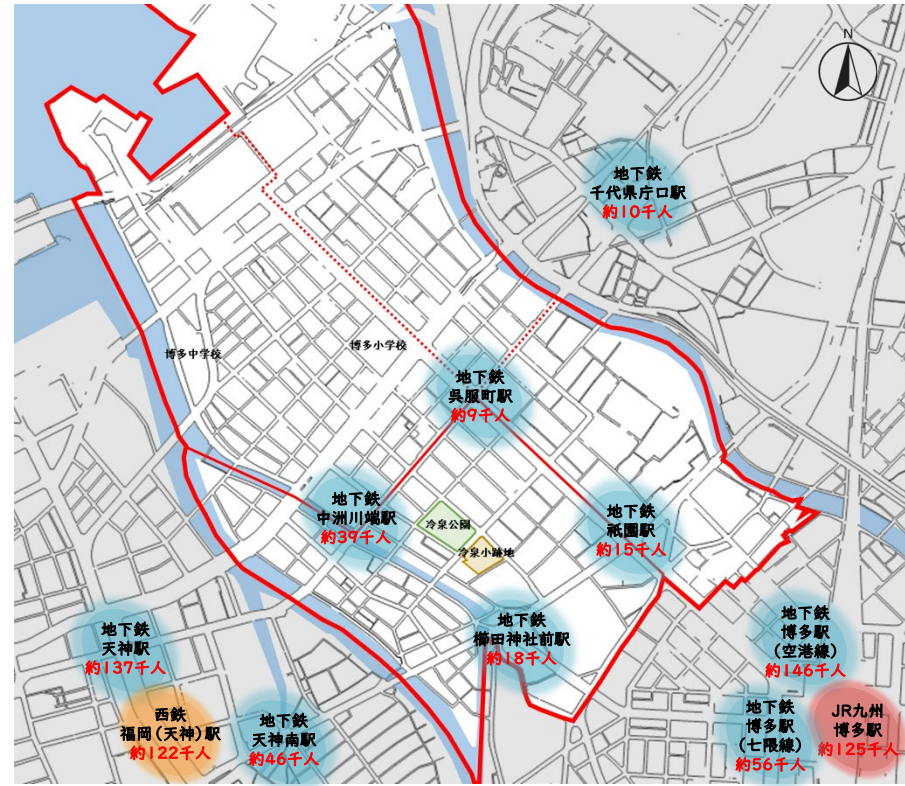
博多旧市街エリアマップ

(2) 跡地の周辺状況

○跡地周辺地下鉄駅の乗降人員
 跡地周辺の地下鉄各駅での乗降人員は増加傾向にあり、跡地周辺の主要プロジェクトの一つである「博多旧市街プロジェクト」と併せ、賑わいや交流が期待できるエリアである。

単位:千人	R2ND	R3ND	R4ND	R5ND	R6ND
中洲川端駅	9,255	8,708	10,922	13,227	14,395
呉服町駅	2,385	2,374	2,658	3,030	3,370
祇園駅	4,404	4,185	4,902	5,374	5,580
櫛田神社前駅				4,008	6,730

【年度別乗降人員(福岡市統計書令和6年版)】



【跡地周辺交通拠点乗降人員/日(福岡市HP、JR九州(株)HP、西日本鉄道(株)HP)】